

ベトナムの電子商取引市場の急成長と持続可能な発展の取り組み

2025 年 1 月 13 日 作成

カテゴリ ベトナム市場経済 経済動向

ベトナムの電子商取引市場の急成長と持続可能な発展の取り組み

ベトナムの電子商取引市場は、2024 年に 300 億ドルに達し、これは Google、Temasek、Bain & Company の以前の予測である 220 億ドルを上回る。この成長により、ベトナムはインドネシアとタイに次ぐ東南アジアでの電子商取引規模を誇る国となった。電子商取引の急成長は、企業が消費者に商品を提供するための環境を整えただけでなく、数十万人の雇用を生み出し、国家予算への貢献も大きい。

毎日、電子商取引プラットフォームでは多くの注文が処理されており、前年から 20% 増加している。これに対応するため、多くの事業者は新たに従業員を雇用している。ハノイ市ハドン区でオンラインビジネスを営むマ・コン・ゲ氏は、「2024 年には売上が約 100 億ドンになると見込んでいる」と述べており、さらなる成長を期待している。彼女のビジネスも前年の 2 倍の注文数を記録しており、売上は約 30 億ドンに達する見込みである。

現在、ベトナムには約 725,000 の事業者が電子商取引プラットフォームで活動しており、その総取引額は 75 兆ドンを超えており、電子商取引の売上増加は税収の増加にもつながっており、今年度の税収は 108 兆ドンに達する見込みだ。

税務当局は、事業者が適切に税金を申告できるよう支援策を講じるとともに、新たに設立されたオンライン事業者向けの税務ポータルも活用されている。経済産業省は、電子商取引法の整備を進めており、商品品質の管理や持続可能な発展を促進するための法案も検討中である。このような取り組みにより、ベトナムの電子商取引市場は今後も成長し続けることが期待されている。

以上